

(3) 県負担・補助率の考え方

県が実施主体の表彰。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	2,515	表彰物品購入費（個人表彰分）、賞状購入費
印刷製本費	67	賞状印刷
役務費	249	賞状筆耕費
合計	2,831	

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 消防職団員をはじめ、団員を支えている家族や、団の活動を支援する事業所などを表彰し、その労に報いるとともに、地域防災に対する更なる士気の高揚につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (S44)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
						達成率
消防団員の条例定数 に対する充足率	99.9%	91.0%	92.75%	98.0%	98.0%	92.9%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>令和2年度「消防感謝祭」岐阜県消防定例表彰式を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和2年11月7日（土） ・場所 各務原市文化ホール（各務原市） ・表彰者 53団体 3,284名（うち県 42団体 1,451人） ・参加人員 約200人 <p>災害等で活躍した消防団や、長年消防業務に従事した消防職団員、消防団員を支える家族、団の活動を支援する事業所など、県内の様々な消防関係者を表彰し、その労に報い、士気の高揚につなげることができた。</p>
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%	
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	東日本大震災以降、消防の重要性に対する認識が高まっており、団員の士気高揚につながる表彰は、必要性が非常に高い。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	消防団員の活動はボランティア精神により成り立つことから、団員がやりがいを持つためには、その努力が感謝され、賞賛されることが重要であり、表彰は団員の士気高揚につながる。
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	開催に要する費用の低減に努めるなど、事業の効率化を図っている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 表彰枠が限られているため、要件を満たしながらも受賞できない団員が増加している。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 限られた表彰枠の中でより多くの団員に表彰が行き渡るように、市町村の要望を踏まえつつ表彰の統廃合などを行う。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	